

61 コオバシギ

(チドリ目)

兵庫県ランク:B

Calidris canutus

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:B

環境省ランク:指定なし

種の概要

日本では旅鳥。兵庫県では主に4-5月と9-10月に見られる。干潟や河口、入り江、砂浜の海岸などに生息し、ゴカイ類、貝類、甲殻類などを採食する。



写真提供:三木敏史

国内分布

北海道、南千島、本州、舩倉島、見島、四国、九州、対馬、男女群島、硫黄列島、奄美諸島、琉球諸島

県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認

(姫路市)、(尼崎市)、(明石市)、(西宮市)、(相生市)、加古川市、高砂市、たつの市、(稲美町)



主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。
県南部で春秋の渡りの時期に記録されるが、大抵は単独か数羽で、個体数は少ない。近年は生息環境の多くが消滅しているため比較的稀な記録になっている。



写真提供:三木敏史

保護上の留意点

現在もわずかに残されている干潟や河口などの自然環境の保全に加えて、積極的な再生のための環境整備が重要。